本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

簡易ナビゲーション／アラーム機能

# 750

取扱説明書

**750**

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

## ご使用上の注意

**防　水　性**● 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

| | BAR無し | 5BAR | 10BAR | 20BAR | 30BAR |
|---|---|---|---|---|---|
| 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ | ○ |
| スキンダイビング(素潜り) | × | × | ○ | ○ | ○ |

※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
● 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

**バ　ン　ド**● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

**温　　度**● 直射日光が長く当ったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

**ショック**● 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

**磁　　気**● 家庭用電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ進みが生じることがあります。

**薬　品　類**● 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

**保　　管**● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## お手入れについて

**お手入れのしかた**● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

**お手入れを怠ると**● 「サビ」
ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
● 「かぶれ」
● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
● 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

## 電池交換について

**最初の電池**● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

**消　　耗**● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

**電池交換**● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

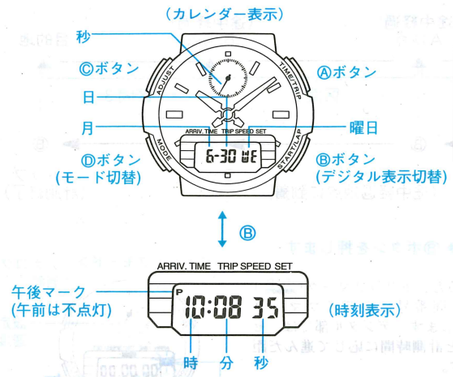
## 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

## 操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。(押すごとに確認音が鳴ります。)
※くわしくは各機能の項目をご覧ください。
※プラン、アラームの各モードを使用した後Ⓓボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

### 時刻・カレンダーモード




(曜日の見方)

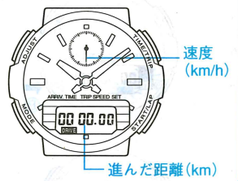
| | |
|---|---|
| SU | 日 |
| MO | 月 |
| TU | 火 |
| WE | 水 |
| TH | 木 |
| FR | 金 |
| SA | 土 |

●デジタル部表示切り替え
Ⓑボタンを押すごとにデジタル部が「カレンダー表示(月･日･曜日)」と「時刻表示(時･分･秒)」とに切り替わります。

Ⓓ⇩　⇧Ⓓ

### ドライブモード

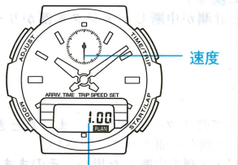
プランモードでセットした距離/速度をもとに計測を行ない、到着時刻を予測します。




Ⓓ⇩

### プランモード

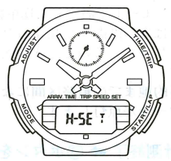
ドライブ計画にもとづいた距離/速度のセットができます。




⇨Ⓓ

### H-SET(アナログセット)モード

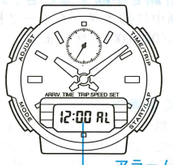
アナログ部の時刻合わせができます。




⇧Ⓓ

### アラームモード

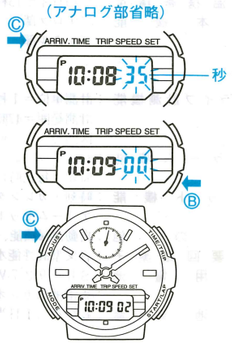
アラーム時刻のセットができます。




## 秒の合わせ方

月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。
※デジタル部の「秒合わせ」を行なうと、アナログ部の「秒合わせ」も自動的に行なわれます。

(アナログ部省略)




(1)時刻・カレンダーモードのときにⒸボタンを約1秒間押すと「秒」が点滅します。

(2)時報に合わせてⒷボタンを押すと00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3)秒合わせが終わりましたら、Ⓒボタンを押すとアナログ部の秒針がデジタル部の秒に連動して修正され、秒合わせが完了します。

## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

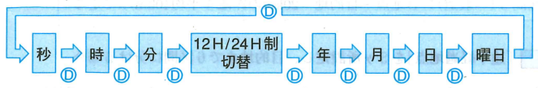
(1)時刻・カレンダーモードのときにⒸボタンを約1秒間押すと「秒」が点滅します。

(アナログ部省略)




(2)Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が次の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい箇所を選びます。



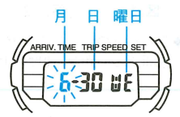




※年は西暦で、1990年～2029年までセットできます。

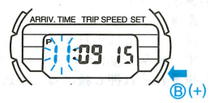
(12H/24H切替)




月 日 曜日

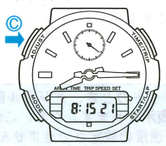



(3)点滅箇所が「秒」以外のときはⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りします。
※12H/24H制切替はⒷボタンを押すごとに切り替わります。




Ⓓボタンでセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
※「時」のセットのとき、午前(不点灯)／午後(P)、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わりましたら(どの箇所が点滅していても)、Ⓒボタンを押すとアナログ部がデジタル部に連動して修正され、セット完了です。




●時刻・カレンダーのセットで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、アナログ部もデジタル部に連動して修正されます。
●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

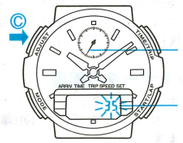
**ご注意**

ドライブモードで計測中のときは、時刻・カレンダーのセットはできません。この場合は、ドライブモードでⒷボタンを1～2秒押してリセット表示にしてから行なってください。

## 針をデジタル部の時刻に合わせるには

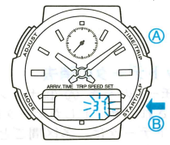
電池交換後など、アナログ部の針とデジタル部の時刻が合っていないときは、Ⓓボタンを押してH－SET(アナログセット)モードにして合わせます。

(秒針セット状態)

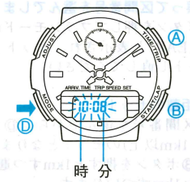



(1)H－SETモードでⒸボタンを約1秒間押すとデジタル部に秒が点滅表示され、秒針セット状態となります。

(2)このときⒷボタンを押すごとに秒針が1秒ずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1秒ずつ戻りますので、秒針をデジタル部の「秒」に合わせます。
※Ⓑ･Ⓐボタンは、押し続けると早送りができます。




(3)秒針を合わせ終わりましたら、Ⓓボタンを押すと時･分針セット状態になります。
時･分針も秒針と同様に、ⒶボタンまたはⒷボタンを押してデジタル部の「時･分」に合わせます。
※時･分針を合わせるときは、針をデジタル部の時･分に相当する位置に合わせてください。




(4)アナログ部の時･分･秒針をデジタル部の時刻に合わせ終わりましたら、Ⓒボタンを押すと点滅が止まり(H－SET表示)、時刻合わせは完了です。
なお、時刻・カレンダーモードに戻すには、続けてⒹボタンを押します。

※H－SETモードでデジタル部を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードの表示に戻ります。

**ご注意**

針とデジタル部の時刻を正しく合わせていませんと、他の機能で針が正しく動作しませんのでご注意ください。

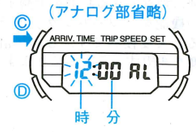
## アラーム・時報の使い方 …操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、アラームモードにします

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせてくれます。また、毎正時(00分のとき)を"ピッピッ"と電子音で知らせる時報もセットできます。

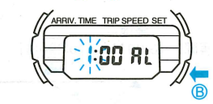
### ■アラームのセットのしかた

(1)アラームモードでⒸボタンを約1秒間押すと、「時」が点滅します。
このとき、Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい箇所を選びます。

(アナログ部省略)

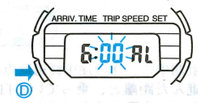



(2)点滅箇所の表示数字はⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りします。




※「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。
※時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。

(3)「時」のセットが終わりましたら、Ⓓボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒷボタンで合わせたい「分」を表示させます。




(4)セットが終わりましたらⒸボタンを押してセット完了です。
※ このとき、アラームONマーク(▮▮▮)が点灯します。

アラームONマーク

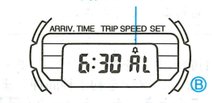


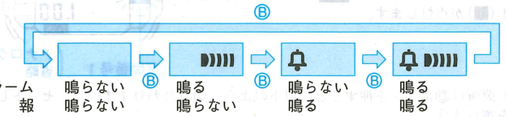

●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

### ■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すごとにアラームONマーク(▮▮▮)、時報ONマーク(🔔)が以下の順で点灯/不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときがONで、アラーム・時報が鳴ります。

時報ONマーク




※アラーム・時報を鳴らさないときは各マークが点灯していない状態にします。

### ●鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるにはⒶⒷⒸⒹのいずれかのボタンを押します。

### ●アラーム音の試し聞き(モニターアラーム)

アラームモードのとき、Ⓐボタンを2～3秒間以上押し続けると、押している間アラーム音が鳴ります。

**★アラーム音を選ぶ**

アラーム音の試し聞き(アラームモードでⒶボタンを押し続ける)のときに、Ⓑボタンを押すごとに右記のようにアラーム音が切り替わります。

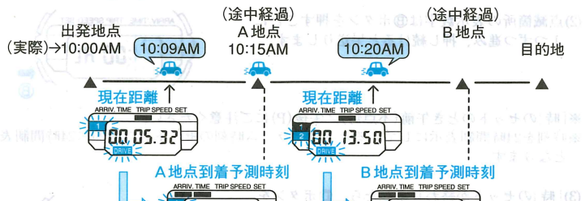


# ドライブ機能の使い方

## ■ドライブ機能の概要

ドライブ機能とは、出発地点から目的地までの距離と平均走行速度をあらかじめセットしておくことにより、計測をスタートした時点から目的地に到着できる時刻を予測するものです。
この機能を、ツーリング、ドライブなどに使用すると大変便利です。なお、計測中に平均走行速度を変更することもできます。



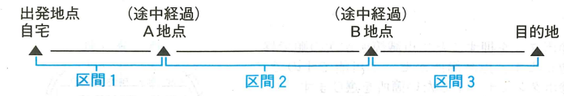




●計測中に、次の途中経過地点から目的地までの到着予測時刻がわかります。
●進んだ距離と、乗っている自動車などのトリップメーター(距離計)との差を見れば、実際の速度が予定より速いか遅いかわかります。
※出発時に自動車などのトリップメーターを“000.00”にしておくと実際に進んだ距離がわかります。

## ■計測前の準備 ❶ ～ドライブ計画をたてる～

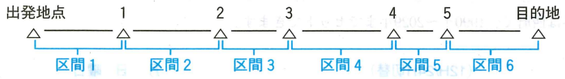
ご使用の前に、出発地点から目的地までの距離および平均走行速度を想定します。
※本機は、目的地まで最大５ヶ所の「途中経過地点」を設定(つまり、目的地まで６区間に分けることができます)でき、高速を利用するときなど特定の区間内で走行速度が変化するときも簡単にセットが行なえます。

例１　途中速度が変化する地点(途中経過地点)を２ヶ所設定し、目的地まで３区間に分ける場合。




計画
区間１(一般道)：自宅～Ａ地点　10kmの距離を平均50km/hで走る
区間２(高速道)：Ａ地点～Ｂ地点　120kmの距離を平均80km/hで走る
区間３(一般道)：Ｂ地点～目的地　20kmの距離を平均40km/hで走る

例２　「途中経過地点」を５ヶ所設定し、目的地まで６区間に分ける場合



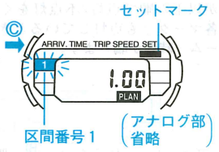

➡それぞれの予定に合わせてこのようなドライブ計画をたてましたら、区間ごとの距離/速度のセットを行ないます。

## ■計測前の準備 ❷ ～区間ごとの距離/速度をセットする～

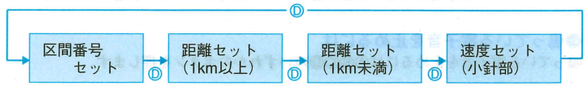
ドライブ計画が決まったら、以下の手順で区間ごとの距離/速度をセットします。

**ご注意**
ドライブモードで計測中のときは、区間ごとの距離/速度のセットはできません。この場合は、ドライブモードでⒷボタンを１～２秒押してリセット表示にしてから行なってください。

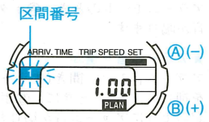
(1)Ⓓボタンを押してプランモード(“PLAN”点灯)にし、ボタンを約１秒間押します。
このとき、セットマーク(SET)が点灯し、区間番号１(1)が点灯します。




セット箇所はⒹボタンを押すごとに以下のように切り替わりますので、セットしたい箇所を選びます。



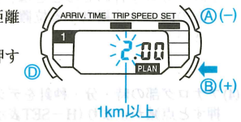

(2)区間番号を選ぶ
区間番号が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すと番号が進み、Ⓐボタンを押すと番号が戻りますので、セットしたい番号を選びます。




※途中経過地点を設定しない場合は、区間番号１のみセットします。
※ⒷあるいはⒶボタンで区間番号を表示させると、途中経過地点を設定したことになり、自動的に距離は1.0km、速度は60km/hに設定されます。

＜誤って区間番号を選んでしまったときは＞
Ⓒボタンを押してプランモードに切り替え、Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
“CLEAR”と表示され、セットしたデータはすべて消去されますので、あらためてセットし直してください。

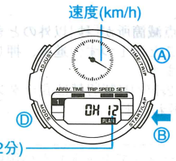
(3)距離のセット
区間番号を選んでから、Ⓓボタンを押すと距離(1km以上)のセットとなります。
Ⓑボタンを押すと1kmずつ進み、Ⓐボタンを押すと1kmずつ戻ります。
※それぞれ押し続けると早送りします。



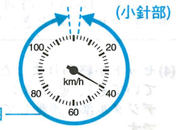

続けてⒹボタンを押すと1km未満のセットとなり、1km以上のときと同様にⒷ・Ⓐボタンでセットします。
※距離のセットは、１区間1.00km～999.99kmの範囲内となります。




(4)速度セット
距離セット後、Ⓓボタンを押すと速度セットとなります。
速度セットは小針部で行ない、Ⓑボタンを押すと2km/hずつ進み、Ⓐボタンを押すと2km/hずつ戻ります。
※それぞれ押し続けると早送りします。




速度は、2km/h～118km/hの範囲内で2km単位でセットできます。
※プランモードでは、速度を“0km/h”でセットすることはできません。

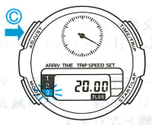



速度セットのとき、デジタル部ではセットした距離、速度に応じて所要時間が計算/表示されます。なお、この所要時間が47時間59分29秒を越える場合の距離および速度の設定はできません。

＜参考＞
一般道を走行する場合は、信号など交通状況の影響をふまえて、走行している速度より少し遅い速度でセットすると、より正確に計測することができます。
※高速道では、実際に走行する速度を設定します。

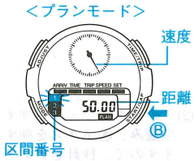
| 例) | 実際の走行速度 | 本機への設定速度 |
|---|---|---|
| 一般道 | 50km/h | 30～40km/h |
| 高速道 | 80km/h | 80km/h |

(5)１つの区間内の距離/速度のセットが終わりましたら、Ⓓボタンで区間番号セット表示に切り替え、Ⓑ・Ⓐボタンで他の区間番号を選び、(4)～(5)の操作をくりかえしてそれぞれ距離/速度をセットしていきます。
※なお、目的地まで６区間を必要としないときは、必要な区間番号までの距離/速度のセットを行なった時点で、Ⓒボタンを押してセットを終了させます。
例) 目的地まで３つに区切るときは、３区間目をセットしたあとで、Ⓒボタンでプランモードに戻します。

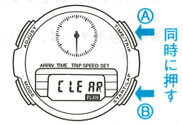



(6)すべての距離／速度のセットが終わりましたら、Ⓒボタンを押してプランモードに戻します。
※セット後、表示を点滅させたままにしておくと、１～２分後自動的に点滅が止まり、プランモードに戻ります。

●セットデータの確認
プランモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに区間番号が点滅し、セットしたデータ(距離/速度)が表示され、確認できます。



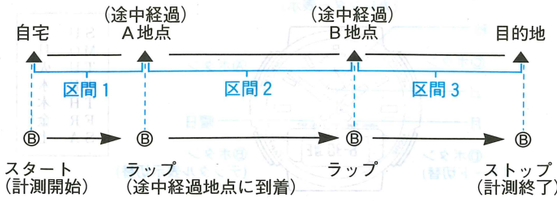

●セットデータの消去
プランモードのとき、Ⓐ･Ⓑボタンを同時に押すと“CLEAR”と表示され、セットしたデータはすべて消去されます。
※セットデータは、各区間ごとにそれぞれ消去することはできません。




## ■計測のしかた

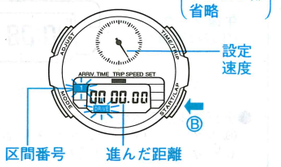
☞ドライブ計画を立て、プランモードでセットを行ないましたら、操作のしくみにしたがって、Ⓓボタンを押してドライブモードにします。

例)「途中経過地点」を２ヶ所設定し、目的地まで３区間に分けた場合




●計測開始 ➡ Ⓑボタンを押します。

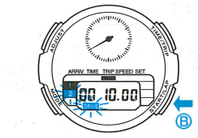
計測を開始すると、トリップマーク(TRIP)が点灯し、区間番号、ドライブマーク(DRIVE)が点滅します。デジタル部では、セットした速度と計測時間に応じて進んだ距離を表示します。




※計測中にⒹボタンを押して他のモードに切り替えても、計測に影響はありません。ただし、時刻・カレンダーのセットはできません。
※セットデータの消去後など、各区間の距離/速度をセットしていないときに計測を開始すると、速度を60km/hとして進んだ距離を表示します。

●途中経過地点に到着 ➡ Ⓑボタンを押します。

プランモードで設定した途中経過地点に到着、または次の区間を出発するときに、Ⓑボタンを押します。このとき次の区間の計測を始めます。
※目的地までの最終区間になると、“GOAL”マークが点灯します。




●計測終了 ➡ Ⓑボタンを押します。

最終区間(“GOAL”点灯)のときにⒷボタンを押すと、計測終了となり、デジタル部がリセット表示(0000.00)に戻ります。

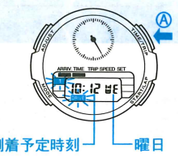



●計測を中断するとき(リセット表示に戻す)
計測中にⒷボタンを１～２秒押し続けると計測が中断し、デジタル部がリセット表示(0000.00)に戻ります。

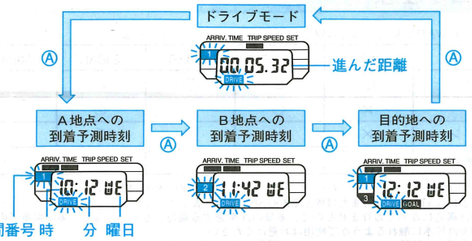
＜参考＞
計測中、途中経過地点に到着する前に誤ってⒷボタンを押してしまったときは、一度計測を中断し、次の途中経過地点から計測を再開させてください。
例) 自動車で走行中、上図「Ｂ地点」到着前に計測を中断した場合、そのまま自動車を走らせ、Ｂ地点到着時にⒷボタンを２回押して計測を再開させます。

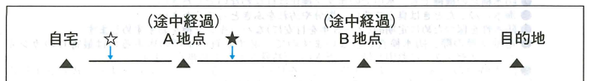
●途中経過地点(目的地)の到着予定時刻を見る

ドライブモード計測中は、計測した時間とセットした速度をもとに進んだ距離を表示します。
このとき、Ⓐボタンを押すごとに途中経過地点(または目的地)に到着できる時刻を予測し、表示します。




例) ３つの区間の距離/速度がセットされている場合(下図☆印の地点で見た場合)

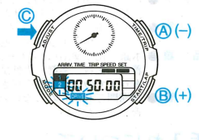


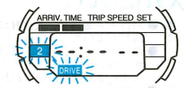

※到着予測時刻は、途中経過地点を通り過ぎる(＝Ⓑボタンを押す)と、次の途中経過地点からの表示となります。(上図★印の地点では、「Ｂ地点」と「目的地」の到着予測時刻のみが表示されます。)

※セットデータの消去後など、各区間の距離/速度をセットしていないときに計測を行なうと、到着時刻の予測は行なわず、速度を60km/hとしたときの進んだ距離のみの表示となります。

●計測中の速度変更
ドライブモードで計測中に、渋滞・休憩など予定外に速度を変更することもできます。
速度変更はⒸボタンを約１秒間押してから(SPEED、SETマーク点灯)速度セット時と同様にⒷ・Ⓐボタンで行ないます。
※速度は0km/h～118km/hの範囲内でセットできます。




※速度を設定するとき、１区間の所要時間が47時間59分29秒を越える場合、目的地到着時刻(ドライブ



モードでⒶボタンを押すと表示)は“－：－－－－”となります。

☞速度変更が終わりましたら、Ⓒボタンを押して計測表示に戻します。
※計測表示に戻しませんと、速度が変更されません。

**ご注意**
計測中の速度変更は、現在進んでいる区間の速度のみとなります。速度を変更すると、その地点から到着予測時刻が再計算され、次からの途中経過地点および目的地の到着予測時刻が速度に応じて変更されます。

＜参考＞　途中経過地点で休憩するには
(1) 途中経過地点に到着したときに速度を“0km/h”に変更します。
(「計測中の速度変更」参照)
(2)休憩を終えて再出発するときにⒷボタンを押して次の区間の計測を始めます。

# 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
基本機能：アナログ部　時針・分針・秒針（小針）
　デジタル部　時刻表示　時･分･秒･午前/午後(P)/24時間制表示
　カレンダー表示　月・日・曜日、
　フルオートカレンダー（1990年～2029年）
ドライブ計測機能：計測単位＝１秒（計測時間）、0.01km（距離）
　計測範囲＝47時間59分59秒（１区間）
　区間設定６ヶ所まで、距離／速度セット
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子音＝20秒間
　時報　毎正時に２回電子音で報時
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、
　アラームセット機能
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、アラーム音切替、12/24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップＣＭＯＳ－ＬＳＩ
使用電池：ＳＲ－９２７Ｗ（電池別途販売）
　※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命：約２年（１日当り、電子音を20秒間使用した場合）


カシオ計算機株式会社
OH07057301A